

インサルパック® 2液タイプ商品カタログ

NE-PRO M



NE-PRO!





HYPER #30NF





地球環境に配慮した インサルパックのNEWスタンダード

ノンフロンタイプ

「NB-PROシリーズ」 2021年いよいよスタート

【すべてのインサルパック(発泡ウレタンフォーム)のノンフロン化実現について】 ~これからの脱炭素社会と地球温暖化対策にむけて~

日本政府は、2030年までに温室効果ガスを46%削減(2013年度比)するという目標(NDC46%)を世界に約束し、さらには2050年までにカーボンニュートラルを実現するという目標を打ち出しました。また、地球温暖化対策計画の素案では、家庭部門で温室ガスを2013年度比で66%削減するという計画が公表されています。

社会が脱炭素社会と地球温暖化対策に向かう中で、省エネ・高気密・高断熱・ZEHなどのキーワードに欠かせないアイテムとなっているのがインサルパックです。

これまでインサルパックは動力を使わずさまざまな場所で施工可能というポータブル性を活かし、大型設備や住宅・建築分野などで、高断熱化・高気密を実現してきました。しかし、省エネ、ECOに貢献するアイテムであるにも関わらず、断熱性能を保っためのガスに代替フロンが使用されていたため、ノンフロン商品を開発。「NB-PROシリーズ」として生まれ変わりました。

「NB-PROシリーズ」は、従来品に比べ、地球温暖化係数 (GWP) を99%以上削減。地球環境への負荷を大幅に低減するNEW スタンダードを目指します。NB-PROのシリーズ名は「ノンフロンボンベ」の頭文字と、今までにないという 「Never Before」を由来としました。商品のECOと使用される箇所のECOを同時に実現できる商品として、これからも省エネに貢献していきます。





商品名	発泡ガス	地球温暖化係数(GWP)
従来品	HFC-134a	1430
NB-PROシリーズ	HFO-1233zd	1



INDEX

商品ラインアップ	2
2液タイプの仕組み	2
インサルパックの特長	3
初めて使用される方へ	4
ボンベタイプ <mark>「NB-PROシリーズ」</mark> ·······	5
エアゾールタイプ「HYPER #30NF」 ·······	7

専用副資材	;
使用にあたって 9)
一時保管と廃棄10)
「NB-PROシリーズ」使用方法 ······· 11	
[HYPER #30NF]使用方法 ····································	3
使用時のポイント 14	Ļ

商品ラインアップ

吹き付け、充てん、注入のすべてに対応スタンダード ボンベタイプ





NB-PRO/M





NB-PRO/L





NB-PRO/X

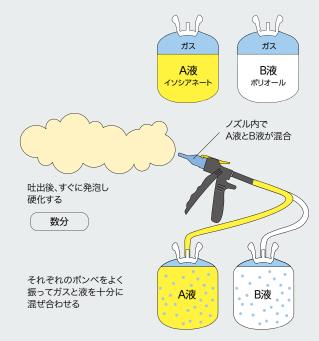
ショルダーストラップを採用したコンパクトタイプ 使い切り エアゾールタイプ



HYPER #30NF

発泡システム

A液(イソシアネート)とB液(ポリオール)が別々の容器に入っており、ガス(HFO-1233zd)の圧力により専用ガンで吐出します。 A液とB液がガン先のノズル内で混合することで熱反応を起こし、吐出、発泡ののち数分で硬化します。



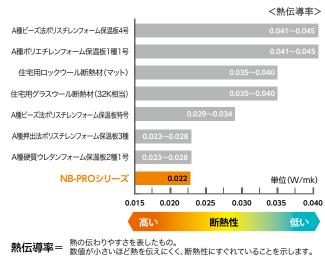
充てんや吹き付け施工に適しています。厚みが必要な箇所や天井面への吹き付けも可能(HYPER #30NFは天井面施工不可)。約3分で内部まで硬化するため、作業効率にもすぐれています。

断熱性・省エネ・作業性にすぐれた

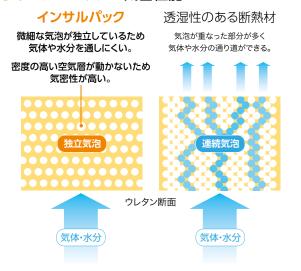
「インサルパック」のハイレベルな

インサルパックは最高グレードの断熱性能を有しています。 さらに、独立気泡の発泡ウレタンのため、気体や水分を通しにくく、 高い気密性を得ることができます。

インサルパックの断熱性能



インサルパックの気密性能



「インサルパック」が実現した

インサルパックは次世代省エネルギー基準対策に適合する 快適で健康的な住環境づくりに欠かせないアイテムです。 ハイレベルな断熱・気密を実現できます。

●次世代省エネ基準対策に

省エネ・高気密・高断熱住宅、ZEHなどの現場で、断熱・気密補助材として有 効活用されているインサルパック。これらの住宅には計画的な換気や効率的な 冷暖房システムと合わせた断熱・気密が欠かせません。そのため、しっかり対策 するにはインサルパックが必要不可欠なアイテムとなっています。

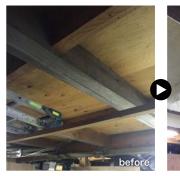
断熱性能を高めるためには、単に建物全体にすぐれた断熱材を施工すれば良 いというわけではなく、必要な部位にきちんと断熱・気密を施す丁寧な施工が 必要です。断熱や省エネ用途では、インサルパックは商品単独の施工ではなく、 さまざまな断熱材や気密部材と組み合わせて使用され、より高い効果を生み出 しています。



[住宅リフォーム施工例]









簡易型発泡ウレタンフォーム



あらゆる場所にフレキシブルに対応 抜群の作業性

インサルパックは現場発泡タイプですので凹凸のある部分でもしっかり密着。 床下などの複雑な形状にも簡単に施工することができます。 また、動力を使わないため、手軽に持ち運びでき、作業における騒音もありません。

●操作が簡単

システム化されたセット梱包で簡単に作業ができます。

●近隣への騒音が軽減

マンションのリフォームなどでは、作業中の騒音対策が苦慮されます。 動力を使わないインサルバックは騒音を出さないため近隣対策に効果的です。

●移動がスムーズ

動力車や大掛かりな機械を必要としないため、現場での移動がスムーズにできます。

●専門的な技能が不要

難しい操作がないため、専門的な技能がなくても施工が可能。 コスト軽減にも寄与します。

初めて使用される方へ

誤った使い方をするときれいなウレタンフォームが形成されない場合もございます。 各商品の特長をしっかりご理解いただき、正しい施工方法で安全な作業を心がけてください。

タイプを選ぶ

インサルパック2液タイプには容量別のスタンダードボンベタイプとコンパクト に使える使い切りエアゾールタイプを用意しています。使用目的、現場のスペー スなどを考慮して最適な商品をお選びください。

スタンダード ボンベタイプ 「NB-PROシリーズ」

- ●吹き付け、充てん、注入のすべてに対応
- ●広範囲の施工が可能
- ●容量別の3タイプから選択が可能

A STATE OF THE STA

使い切り エアゾールタイプ 「HYPER #30NF」

- ●細部の補修や充てんに最適
- ●ショルダーストラップ採用で 片手での作業が可能



発泡体積の積算について

気温や湿度などの外的要因や使用方法により発泡体積は増減します。

- ●吹き付け施工は、記載の発泡体積から2割程度のロスが発生します。天井面は飛散のロスを3割程度、注入施工は4割程度のロスを見込んでください。
- ●記載の発泡体積は自由発泡時(何も障害のない所で発泡させた場合)の最小、最大体積です。

<発泡体積表示について>

弊社表示は ℓ です。㎡換算は以下をご参照ください。

0.1m=1000 1m=1,0000

例 (壁面約30㎡に厚さ30mmで施工する場合)

mi×厚さ(mm)=Q(発泡体積) 30×30=900(Q)=0.9mi

上記の計算はロスを見込んでいないため、施工箇所に合わせて 2割~4割程度のロスを見込んでください。

使用上のポイント

ボンベを温める

施工の前に表示の液温が20℃以上であるかを必ず確かめてください。液温が20℃を下回ると硬化不良の原因となります。

液温が20℃以下の場合は40℃程度のお湯で湯煎するか、20℃程度の室温、車内で温めると効果的です。

この部分に液温が 表示されています。

20℃以上の液温になるまで ボンベを温めてください。



液体を十分に撹拌する

使用前はボンベの中の液体が分離している可能性があります。

- ●ボンベタイプは回転させて十分に撹拌してください。
- ●HYPER #30NFは缶をよく振ってください。

※保温中も撹拌していただくことで、 全体がムラなく温まります。

使用中、再使用時にも温度確認・撹拌を

時間が経過すると施工途中に液温が下がり、吐出状態が悪くなる場合があります。温度確認・撹拌は定期的に行なってください。

下地も温めると効果的

冬場、下地が冷えすぎている場合、ウレタンが固まらない可能性があります。 暖房などを使って下地を温めてください。

ボンベサイズ

ボンベタイプの場合、床下での作業などでサイズに制限がある場合があります。使用用途や作業スペースに合わせて事前にボンベサイズをご確認ください。





スタンダード ボンベタイプ 「NB-PRO シリーズ」

吹き付け、充てん、注入のすべてに対応する多用途スタンダードタイプ。 ノンフロン化に成功した、環境に優しい新商品です。 充てん・吹き付け施工など、広範囲に使用可能です。 容量別の3タイプをご用意しました。

使用用途

- ●壁面の断熱施工 ●天井の断熱施工 ●床の断熱施工
- ●冷凍・冷蔵設備の断熱 ●設備・配管の結露防止 など



※アメリカ国内で販売されている商品に







片手で持ち運べるポータブルタイプ

NB-PRO/M







軽量ポータブルタイプで、小・中規模施工に適しています。 厚み20mmの壁面吹き付けなら約10m施工が可能です。





GHA-9ガン付きホース(2.7m)×1

■フォーム色



クリーム

■付属品



THE PARTY OF THE P	
_ レギュラーノズル×6	ワイドノズル×4

商品名	品番	発泡体積/セット	容量/セット	入数	発泡ガス	熱伝導率	危険物等級
NB-PRO/M	NBM	180~2300・厚み20㎜で約10㎡	6.31	1セット	HFO-1233zd	0.022W/mk	第四類第四石油類 危険等級Ⅲ

多用途に使えるスタンダードタイプ

NB-PRO/L







使いやすい容量のポピュラーサイズで、中規模施工に適しています。 厚み20mmの壁面吹き付けなら約17mmの施工が可能です。







10.40

■フォーム色



クリーム



HFO-1233zd





第四類第四石油類

危険等級Ⅲ

品番	発泡体積/セット	容量/セット	入数	発泡ガス	熱伝導率	危険物等

1セット

面積の広い場所に適した大容量タイプ

NB-PRO/X

NBL

NB-PRO/L



0.022W/mk





壁面や天井など面積の広い場所の断熱に適した大容量タイプです。 大面積の吹き付けから充てん、注入まで幅広い用途に使えます。

300~3800・厚み20㎜で約17㎡





GHA-15ガン付きホース(4.6m)×1

■フォーム色



クリーム

■付属品





商品名	品番	発泡体積/セット	容量/セット	入数	発泡ガス	熱伝導率	危険物等級
NB-PRO/X	NBX	900~1,140ℓ・厚み20mmで約50ml	A液:15.90 B液:16.40	1セット	HFO-1233zd	0.022W/mk	第四類第四石油類 危険等級Ⅲ

使い切り エアゾールタイプ 「HYPER #30NF」

ショルダーストラップを採用したコンパクトタイプ。 軽量で肩にかけて持ち運べるため、フットワークが軽く 細部の補修や充てんに最適です。

使用用途

- ●配線まわりや断熱欠損部など隙間部分に
- ●押入れのカビ防止 など





使い切りエアゾールタイプ

HYPER #30NF

肩にかけて持ち運べる軽量・コンパクトな使い切りタイプです。

↑ 天井面への施工は不向きです。











■フォーム色



クリーム

■付属品

先細注入ホース(25cm)×1

注入ホース(25cm)×1(非売品)



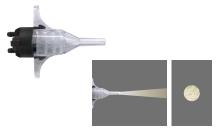
AX-NFノズル×3

商品名	品番	発泡体積/セット	容量/セット	入数	発泡ガス	熱伝導率	危険物等級
HYPER #30NF	IP30NF	20~250·厚み20mmで約1㎡	724g	6セット	LPG/DME	0.026W/mk	第四類第四石油類 危険等級Ⅲ

専用副資材

AX-NFノズル

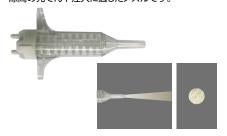
ノズルの先端が丸型で鋭角に狭い範囲に吐出します。 HYPER #30NF専用のノズルです。



品番	サイズ	出荷単位
NFN	先端外径 約6mm	12個/ダース

レギュラーノズル

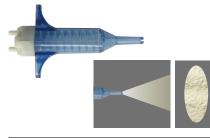
ノズルの先端が丸型で鋭角に狭い範囲に吐出します。 隙間の充てんや注入に適したノズルです。



品番	サイズ	出荷単位
NBRN	先端外径 約6mm	12個/ダース

ワイドノズル

ノズルの先端が平たく割れており、楕円状に吐出します。 壁の吹き付けなどに適しています。



品番	サイズ	出荷単位
NBWN	先端外径 約6mm	12個/ダース

GHA-9ガン付きホース

NB-PRO/M・NB-PRO/Lにご使用いただけます。



[付属品] レギュラーノズル:6個 ワイドノズル:6個 ワセリン:1個 レンチ:1個

品番	サイズ	出荷単位
GHA9	長さ2.7m	1セット

GHA-15ガン付きホ<u>ース</u>

NB-PRO/X専用のガン付きホースです。



[付属品] レギュラーノズル:6個 ワイドノズル:6個 ワセリン:1個 レンチ:1個

品番	サイズ	出荷単位
GHA15	長さ4.6m	1セット

注入ホース

注入・充てん時にご使用いただける ホースです。 2液全商品にご使用いただけます。

※HYPER #30NFでは最長1mまでです。



品番	サイズ	出荷単位
ICH	外径約9mm	2m×3本セット

先細注入ホース

細部への注入・充てん時にご使用いただけるホースです。 2液全商品にご使用いただけます。

品番	サイズ	出荷単位
SCH	外径約4.5mm 長さ250mm	1袋(12本)

ボンベヒーター(受注生産品)

液温が低い場合にボンベを温める専用ヒーターです。ボンベタイプすべての商品にご使用いただけます。



現場の状況によって温度調節ができるように サーモスタットが付いています。 また、バンドタイプなので持ち運びも簡単です。





品番	仕様	サイズ	電源コード	入数
BH	100V 350W	幅108mm 長さ978mm	2m(プラグ付き)	1セット

使用にあたって



取り扱い上の注意

- ●施工の前に必ず各商品の使用方法・注意事項をお読みのうえ、適切な取り扱い方法で安全に施工してください。
- ●インサルパックを取り扱う際は、必ず保護具(保護マスク、保護手袋、保護 衣、保護メガネ等)を着用してください。
- ●硬化した発泡ウレタンは削り取る以外の除去方法がありません。施工部位 以外は十分養生し、発泡ウレタンの付着を防いでください。
- ●手や肌に発泡ウレタンがつくと落ちません。数日間はベタベタし、汚れが 残ってしまいます。必ず保護具を着用してください。
- ●火気厳禁です。
- ●吐出時にはガスが含まれますので、使用時には必ず換気を行なってください。
- ●ボンベに原液が入っている間は加圧されていますので、絶対に穴を開けたり、焼却、必要以上の加温(60°C以上)、強い衝撃を与えるなどの行為は行なわないでください。
- ●施工時にホースを無理に引っぱったりしないでください。

下地条件

- ●下地に付着している土砂・セメントモルタル・油類は完全に取り除いてください。
- ●下地に水分があると接着しない場合があります。水分はできるだけ乾燥させてください。
- ●ポリエチレン・ポリプロピレン・テフロン樹脂には接着しませんのでご注意ください。
- ●鉄面下地の錆は、サンダー等で除去し、防錆塗料を塗布してください。





汚れ・ホコリ





湿潤



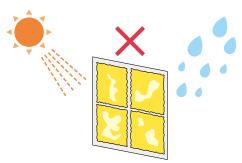


ポリエチレン・テフロン ポリプロピレン

鉄面の錆

後処理

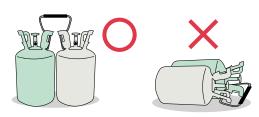
- ●余分なウレタンはカッター等でカットしてください。極力カットしないで済むよう に施工した方が、吸水防止効果は高くなります。
- ●ウレタンは紫外線・水によって劣化します。紫外線や水が当たる場所に使用した場合、必ず表面塗装や防水処理を行なってください。



紫外線・水による劣化対策をおすすめします。

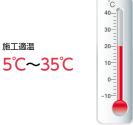
保管 (P.10をご参照ください。)

- ●必ず室内に保管し10°C以下、40°C以上になる場所は避けてください。
- ●夏場は高温になり爆発の危険性があるため、屋外や車内での保管は避けてください。
- ●保管時は必ず正立での縦置き保管をしてください。横置きでの保管は、吐出不良の原因となります。



施工条件

●下記の外気温が施工適温です。範囲外の低温、高温の場合は発泡不良が起こる可能性がありますので、施工は避けてください。室内の場合は冷暖房などにより、室温を調整してください。



- ●寒冷時には下記の方法で液温が20℃程度になるように温めてください。その際、急激な加温、直火は絶対に避けてください。
 - ボンベヒーターで温める。
- ・室温にて温める(車内も暖房効果が高いので効果的です)。ただし、夏場の車内保管は危険ですので、避けてください。
- ・40°C程度のお湯で湯煎する。電熱線などを利用したヒーターの中には入れないでください。



40℃程度のお湯で温める

- ●使用中も液温が下がらないようご注意ください。
- ●下地が冷えている場合にも、発泡が悪くなる場合があります。下地や室温を温められる環境であればヒーターなどで温めてから施工してください。
- ●夏場など液温35℃を越える場合は、冷ましてから使用してください。

廃棄 (P.10をご参照ください。)

- ●ボンベは必ず使い切ってから廃棄してください。
- ●HYPER #30NFの空き缶は不燃物として地域の条例に従って廃棄してください。
- ●発泡硬化したウレタンは産業廃棄物として取り扱ってください。

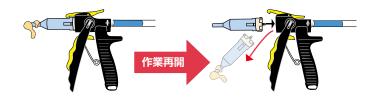
一時保管と廃棄

1000000

ボンベタイプ「NB-PROシリーズ」

● 作業を一時中断する場合

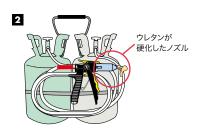
- 作業を中断される際は、ガンの目詰まりを防ぐため使用したノズルを外さずに、付けたままにしておいてください。
- 2 作業を再開する際に新しいノズルを付け替えてください。



● 再使用するための保管(液を使い切らずに保管する場合)

- 1 使用後にバルブを全閉にしてください。
- 2 使用したノズル(内部でウレタンが硬化しているもの)をガンに付けたまま保管してください。
- 3 作業が終わりましたら冷暗所に保管(保管目安約1ヶ月)してください。正しく保管していても長期間放置されると、残ったウレタンが固まって再使用できなくなることがあります。

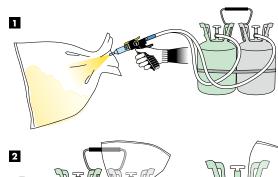




● 使用済みボンベの廃棄

必ず火気のない屋外で作業を行なってください。 作業時には、勢いよく液が吐出する可能性があるため、必ず養生を行ない保護具・手袋を着用してください。

- ボンベのバルブを全開にし、ガンのトリガーを引いて、残液および 残ガスを抜いてください。抜き終わりましたら、バルブを全閉にして ください。
- 2 ガン付きホースを外した後、バルブ周りにビニール袋をかぶせるなどして、再度バルブを開放し残ガスがないか確認してください。 ガン付きホースを外す際にホース内のガスにより液が飛び出してくることがあります。注意してください。
- 3 ボンベ廃棄用の安全弁をハンマーなどで打ち抜いてください。打ち 抜きましたら貼ってあるシールを一枚めくり「処理済み」の状態にし てください。
- 4 原液がボンベ内に残っている場合は打ち抜いた弁から残液を捨ててください。
- 5 廃棄物はそれぞれ地域の条例に従い正しく処分してください。一般的に、硬化しているフォームは廃プラスチック、空ボンベは鉄くず、ガン付きホースは不燃物、残液(未硬化)は有機溶剤として産業廃棄物として処理されます。







作業を行なう際は、液が飛び散ら ないようビニール袋をかぶせてか ら作業してください。

エアゾールタイプ「HYPER #30NF」

- ●HYPER #30NFは使い切りタイプです。その日のうちに使い切ってください。
- ●施工を一時的に中断する時は、使用したノズルを付けたままにして、作業を再開する際に新しいノズルを付け替えてその日のうちに使い切ってください。
- ●エアゾール缶は必ず使い切ってから廃棄してください。



ボンベタイプ NB-PROシリーズ 使用方法

進 備

I

施

1000000

施工の前に

- ●ウレタンの接着が妨げられないよう下地処理を行なってください。 (P.9下地条件参照)
- ●寒冷時には液の温度が20℃程度になるように温めてください。夏場など液 温が35℃を越える場合は冷ましてください。(P.9施工条件参照)
- ●マスカーなどの養生資材を用い養生してください。 インサルパックは特定の下地を除き、付着すると除去できなくなるため、施 工箇所以外は必ず養生を行ない保護具を着用してください。
- ●火気厳禁です。

2 この部分に 液温が 85 表示されます 75°F24℃ **◀24°Cが最適温度**

液温のチェック

- ●液温が20~30°Cになるように調整してください。
- ●冬場で液温が低い場合は表示が24°C(華氏75°F)になるまで温めてくださ い。(P.9参照)
- ●夏場で液温が高すぎる場合は表示が<mark>24℃(華氏75°F)</mark>になるまで冷まして ください。

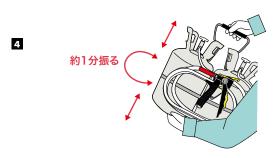
3

赤マジックのラインが ぴったりL時で揃っていれば 正常な状態です。 ラインがズレている場合は 緩みを締め直してください。

バルブ部のラインチェック

●バルブ部のチェックライン(赤マジック)がズレてないか確認してください。 配送中にホースの取り付け部分が緩むケースがあります。 チェックラインがズレている場合や締め付けが甘い場合はレンチなどで回し 締めしてください。

※NB-PRO/Xはガン付きホースの取り付けが必要です。(次ページ参照)



4 ボンベをよく振る

●ボンベを約1分間、よく振って材料を撹拌してください。 この工程を行なわないと吐出不良や硬化不良の原因になりますので必ず行 なってください。

バルブを開け吐出を確認

- ●ボンベのバルブを両方とも全開にしてください。バルブが硬い時はプライ ヤーなどを使って開けてください。無理に回すとバルブが折れてしまうことが あるため、注意してください。
- ●全開後、ホース内部に双方の液が通っていることを確認してください。

●ノズル装着前に、A液、B液両液がともに吐出するか確認するため、ビニール 袋などに捨て吹きを行なってください。

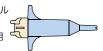


6 ノズルのセット

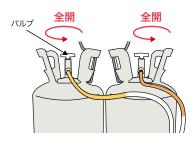
●ガンにノズルをセットしてください。固くてセットしにくい場合もありますが、 ガンのツメがノズルの突起と完全にかみ合っているか確認してください。

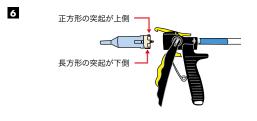
レギュラーノズル (透明) 充てん用

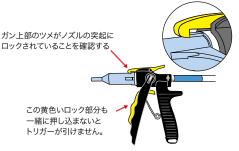
ワイドノズル (水色) 吹き付け用



上から見て反時計回りに回す 5



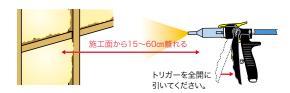




7 フォームの吐出

- ●黄色のロック部とともにレバーを引くとフォームが吐出します。
- ●施工面から15cm~60cm離れ、レバーを引いてウレタンを吐出させます。 使用の前に捨て吹きをし、ウレタンの硬化状態を確認してください。
- ●約1分間で発泡が終了し、 約3分間で硬化が完了します。



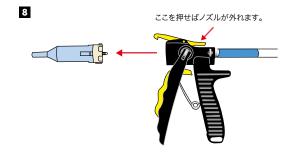


7

施工

8 ノズルの交換

- ●ノズルは約1分で内部硬化しますので、適時交換してください。
- ♠ 硬化した状態のノズルで吐出すると逆流する可能性があります。



施工後

9 余剰部分をカットする

●余剰部分はカッターなどでカットしてください。

廃棄や一時保管はP.10をご覧ください。

NB-PRO/Xへのガン付きホースの取り付け

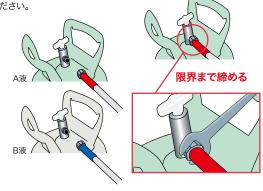
NB-PRO/Xにはガン付きホースがセットされていません。付属のレンチでガン付きホースを取り付けてください。

取り付け部の確認

●取り付け部のネジ山やガン付きホースに異常がないか確認してください。

ボンベにガン付きホースを取り付ける

●A液、B液のボンベにガン付きホースを取り付けます。(A液=赤、B液=青) 箱に入っている付属レンチを使ってナットを限界まで締めてください。締まりが悪いと 接続部からフォームが飛び出すおそれがあります。しっかり締まっているかホースを動 かして確認してください。



注入・充てんする場合

注入・充てん作業を行う場合は以下に留意して作業を行なってください。

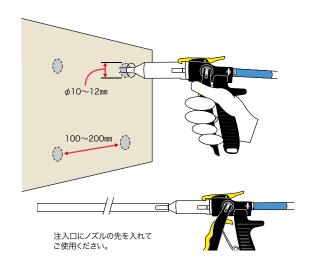
注入口を設ける

- ●注入時は内部の確認ができませんので確認用に逃げ穴を開けてください。
- ●奥行きが50mm程度までの注入の場合は100~200mmピッチ※で注入口を設けてください。
- ※ピッチ間は注入する深さによって異なります。

注入ホースの装着

- ●別売りの注入ホースをで使用いただくと、2mまで(HYPER #30NFは1mまで)の注入が可能になります。この場合、奥まで注入ホースを差し込み手前に引きながら発泡させてください。
- ●別売り注入ホースはノズルの奥までしっかり差し込んでご使用ください。

★ 発泡圧によって下地を傷めてしまう場合があります。注入する際には十分注意してください。 注入ホースは約1分で硬化します。適時交換してください。



回統然回

エアゾールタイプ HYPER #30NF 使用方法

備

施工の前に

- ●下地に付着している汚れ、ホコリ、油などを除去してください。
- ●寒冷時は液の温度が20℃程度になるように温めてください。
- ●手や肌、周囲にウレタンが付着すると落ちません。必ず保護具を着用し、施工 箇所以外を養生してください。

缶をよく振る

●A·B缶の両方を約1分間以上よく振り、材料の撹拌を行なってください。 エアゾール缶内でガスと樹脂が分離しているため、この工程を行わないと 吐出不良や硬化不良の原因になりますので必ず行なってください。

ホルダーに缶を装着

- ●缶をそれぞれのホルダーに装着します。 缶が止まるまで時計回りに取り付けてください。
- ●ホース内に液が通っていることを確認してください。

吐出の確認

●ノズル装着前にA液、B液がともに吐出するか確認するため、施工直前にビ ニール袋などに捨て吹きを2~3秒間行なってください。

施 I

5 ガンにノズル装着

●ガンにノズルをセットしてください。固くてセットしにくい場合もありますが、 ガンのツメがノズルの突起と完全にかみ合っているか確認してください。

6 ストラップを肩にかける

●ホルダーにストラップが付いていますので、肩にかけて作業ができます。

フォームを吐出

- ●黄色のロック部とともにトリガーを引くとフォームが吐出します。トリガーを 全開に引いてください。
- ●缶が常に倒立になる状態で施工してください。 缶を傾けたり、逆さまにするとガスが抜けやすくなり、バランス不良の原因と なります。バランス不良が起きると正しく硬化しません。
- ●使用中もこまめに缶を振ってください。液とガスの量が少なくなってもバラン ス不良が起きる可能性があります。

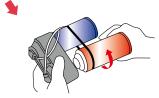
ノズルの交換

- ●作業時間が1分以上空いた場合は、ノズルを付け替えてください。
- ●施工を一時的に中断する場合は、使用したノズルを付けたままにし、作業を 再開する際に新しいノズルを付け替えてください。

2

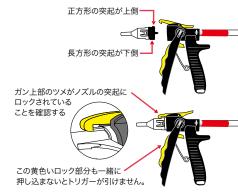








5





缶が倒立になる状態で使用する















8





使いきりタイプです。その日のうちに使いきってください。

施工後

余剰部分をカットする

- ●余剰部分はカッターなどでカットしてください。
- ●硬化した発泡ウレタンは削り取る以外の除去方法がありません。施工部以 外は十分養生し、発泡ウレタンの付着を防いでください。

使用時のポイント

チェックリスト

手袋・マスク・保護具の着用 進 養生 火気厳禁 下地の確認 1分間以上ボンベを振っているか 使用準備 液温は適温(20℃程度)か バルブ部の赤マジックのチェックラインが ぴったりL字で揃っているか バルブを両方とも全開にしているか ホース内に液は通っているか ノズルをセットしない状態で捨て吹きをしているか ガンのツメがノズルの突起と完全にかみあっているか トリガーを全開に引いているか 施工 ウレタンが正常に硬化しているか 施工中も液温が下がっていないかを確認しているか ノズルは適時交換しているか 作業を中断する際に使用したノズルを外さず に付けたままにしているか 施工後 NB-PROシリーズ バルブが全閉になっているか 使用したノズルを付けたまま冷暗所で保管 廃棄する場合の廃棄方法はP.10を参照 HYPER #30NF 作業を終えるときに中身を使い切っているか



ワンポイントアドバイス -

一度に厚みを付けてしまうと液の重さで垂れることがあります。 薄く層をつくるような感覚で2~3回に分けて厚みを付けてください。





トラブルの原因と解決方法

液が出ない



原因

ボンベのバルブが全開になって いなかったり、ホースのねじれ、 詰まりなどが考えられます。

液が出ない! 少ししか液が出ない!



以下の作業を行なってください。

①ボンベのバルブが全開になっているかを確認する。

②ホースがねじれていたらまっすぐに直す。

③ホース内で液が硬化していないか確認する。

④よく振り、液温が20℃程度になるように温める。

液だれ





一度に厚く吹きすぎていると、発 泡・硬化の前にウレタンの重み で垂れてしまいます。

発泡時に垂れ落ちる!

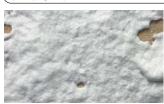


以下の作業を行なってください。

①1回目は下地が透けるくらいの薄吹きをする。

②2~3回に分けて厚みを付けていく。

発泡不良



原因

A液のイソシアネート(赤ライン)が正常に吐出していません。

色は白色で吐出後すぐに溶解し始める。 発泡はするが徐々にしぼんでいく。



原因

B液のポリオール(青ライン)が 正常に吐出していません。

色は濃い黄色で吐出後ボソボソとし始める。



以下の作業を行なってください。

ボンベを温める。

(ボンベの温度が下がっている場合)

②1分以上ボンベを振って撹拌する。

③ノズルを外して捨て吹きし、A液、B液とも正常に 吐出しているかを確認する。



トリガーは100%の全開で握る

その後ノズルを付けて再度捨て吹きを行なう。



正しく発泡している状態

製品一覧

タイプ	商品名		品番 J	JANコード	出荷単位 (内容量×数)	単品寸法(mm)	梱包寸法(mm)	梱包重量 (kg)	使用期限※
917	(A)	100-6		m曲 JANユード		W×D×H	W×D×H		
	HYPER #30NF		IP30NF	0041343012640	箱(724g×6セット)	220×135×195	455×415×210	10.0	
	NB-PRO/M		NBM	5450208000121	セット(14.0kg)	_	400×240×380	14.0	
275.07.47	NB-PRO/L		NBL	5450208000114	セット(18.9kg)	_	400×240×380	18.9	- 15ヶ月
2液タイプ	NB-PRO/X		NBX	-	セット(52.8kg)	_	_	_	
	NB-PRO/X用	NB-PRO/XA	NBXA	5450208000138	本	315×315×505	_	26.9	
		NB-PRO/XB	NB XB	5450208000145	Φ	315×315×505	_	25.9	
	GHA-9		GHA9	_	セット	_	345×345×80	_	
	GHA-15		GHA15	_	セット	_	345×345×80	_	
	AX-NFノズル		NFN	_	袋(12個)	_	_	_	
副資材	レギュラーノズル		NBRN	-		_	_	_	_
	ワイドノズル		NBWN	-		_	_	_	
	注入ホース		ICH	-	セット(2m×3本)	_	_	_	
	先細注入ホース		SCH	_	袋(12個)	_	_	-	
	ボンベヒーター		BH	_	セット	-	_	_	

[※]使用期限は製造からの期限です。輸入品のため、弊社出荷時の期限は約1年前後となります。

物理特性

商品名試験項目	HYPER #30NF	NB-PRO/M	NB-PRO/ L	NB-PRO/ X		
熱伝導率(W/mk)	0.026	0.022	0.022	0.022		
圧縮強度(N/mm)	0.160	0.140	0.140	0.140		
引張強度(N/mm)	0.270	0.220	0.220	0.220		
燃焼性	自己消火性					
耐熱性(℃)	-50~80	-50~80	-50~80	-50~80		
吸水量(g/100㎡)(カット面)	1.00	2.0	2.0	2.0		
フォーム密度(kg/㎡)	29	31	31	31		
タックフリータイム	30~60秒					
カットタイム	3~4分 製造から15ケ月					
使用期限※						

ーニート記の物性値はすべて代表値であり、販売規格ではありません。ウレタン成型時の温湿度や現場条件によって発泡ウレタンの性能は変化しますのでご注意ください。

使用期限

インサルパック各商品には使用期限があります。使用期限内にご使用ください。

- ●使用期限は、未使用の状態で、直射日光の当たらない冷暗所(温度条件5℃ ~30℃)での保管を前提としています。製品に表示している保管方法を守ることが重要です。
- ●使用期限の記載場所は右記をご参照ください。 左から<mark>日、月、年</mark>の順で記載されています。月の表記は、Nov(英語表記)もしくは、11(数字表記)、年の表記は、2022、22と予告なく変更する場合がございます。





株式会社 エービーシー商会

本社: 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-12-14

最新情報はオフィシャルサイトを ご確認ください





商品・企業情報 東京・大阪ショールーム

掲載商品のお問い合わせ

インサル事業部 info-12@abc-t.co.jp

| その他商品のお問い合わせ | 03-3507-7040

- ・本カタログ記載内容の無断転載・複製・引用等はかたくお断りします。
- ・本カタログに®マークが記載されている商品名は株式会社エービーシー商会の登録商標です。
- ・商品は仕様・色・価格など予告なく変更または販売中止となる場合がございます。

ISO9001 ISO14001 認証取得 東京本社



⚠ 注意:施工前に必ず各商品の注意事項をお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

[※]使用期限は製造からの期限です。輸入品のため、弊社出荷時の期限は約1年前後となります。